市立病院広報 第22号

竜んおとし子

－目　次－

● 表紙(クリスマス会)・・・・・・・・・・・・・・・・・1
● 管理者挨拶・市民病院長挨拶・・・・・・・・・・・・2
● 生月病院長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
● 離島医療に学ぶ・・・・・・・・・・・・・・・・・4～5
● 耳鼻咽喉科案内・市民病院医師スタッフ紹介・・・6
● 市民病院外来スタッフ・・・・・・・・・・・・・・・7
● 長崎離島医療研究会・・・・・・・・・・・・・・・・8
● 生月病院院内研究会・・・・・・・・・・・・・・・・9
● 外来診療担当表・・・・・・・・・・・・・・・・10～11
● クリスマス会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

平成22年１月15日

発　行　平戸市民病院・生月病院
平戸市草積町1125番地12
平戸市生月町山田免2965番地

ＴＥＬ　0950-28-1113(平戸市民病院)
0950-53-2155(生月病院)

編　集　広報委員会

新年のご挨拶

平戸市病院事業管理者　**池田柊一**

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様、心あらたに新年の第一歩を踏み出されたものと思います。昨年はオバマ米大統領の核兵器廃絶宣言、鳩山内閣の誕生など、新時代の到来を予感させる出来事がありましたが、時間が経ってみるとまだまだ抵抗する状況が厳然としてあり、先行きは予断を許さないことが分かってきました。

医療の世界も不安定な状態が続いており、医師不足、看護師不足は、当分解消は困難であると思われます。診療報酬はわずかに改善されることになりましたが十分ではなく、病院の自立へ向かっての改革は、今年もさらに進めていく必要に迫られています。このような経験したことのない混迷の時の行動規範は、やはり原点に戻って考えることしかないでしょう。

我々がやるべきことは、地域包括医療・ケアを、今与えられた状況のなかでひとつずつ実現すること、この中で問題解決の方策を探っていくことであろうと考えています。

今年もよろしくお願いします。

新年のご挨拶

新春を寿ぎ、市民の皆様方のご健康を祈念いたします。

平戸市民病院長・サンケア平戸所長　**押淵　徹**

昨年は新型インフルエンザの発生で世界中がその対策に追われた一年でした。ここに来てやっと下火になりつつありますが、今回の事態でさまざまな教訓が得られました。この地球で一番小さな生物・ウイルスが動物の体内で生存し続けてきた生態が徐々に解明されつつある現代でありますが、最大の対策は「ウイルスが侵入し身体が蝕まれてもいち早く免疫を作り出す体力を普段から蓄えておくこと」が肝要であることはいつの時代にも通用する鉄則と思います。自然・社会環境の整備と共に皆様方の健康保持のための工夫が、これらの流行の対策に求められるところです。昨年は百年に一度といわれる世界的な不況に見舞われ私たちの生活は深刻な事態を迎えました。世の中が不況になると、まず財源の縮減の対象になるのは社会保障費でした。しかし、政権交代により、従来の政策どおりでない見通しのようです。政府が打ち出す政策を吟味し、市民の皆様方の健康づくりにとって有利な運営が出来るよう努力していく所存です。

医師不足、看護師不足で運営は困難ではありますが、市民の皆様のご理解を得て、これまで平戸市民病院・サンケア平戸が提唱してきました「地域包括医療・ケア」を皆様と共に推し進め、市民の皆様の健康づくりに貢献してまいります。

新年のご挨拶

生月病院長　**山下雅巳**

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、公立病院の改革プラン作成実行ということで、一層の改善努力を求められました。また、政権交代という激変の年でもあり、医療に対する風向きが少し変わった年でもありました。

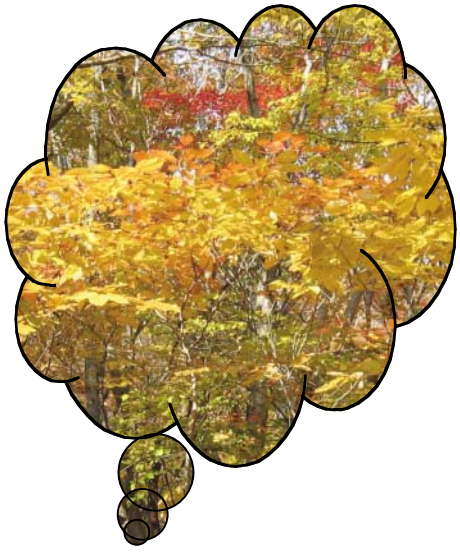
十年振りに診療報酬が上がるそうで、病院勤務医への待遇、診療科間の格差是正、とりわけ救急医療に対する手当などに配慮がなされるのかもしれません。

しかし、それはあるにしてもほとんどないと覚悟しておいたほうがよさそうです。

診療の質を高めるためにも経営の改善を継続していかなくてはなりません。

保健、福祉と連携し、地域包括ケアを実践して、住みやすい町づくりに皆さんとともに貢献していきたいと思っています。

今年も、よろしくお願いいたします。



優勝しました

十月二十一日にライフカントリーで行われた、第十九回初期消火操法競技大会において、屋内消火栓女子の部で市民病院代表三名がまた消火器女子の部で生月病院代表二名が優勝しました。大会ひと月前から、業務の合間を縫って消防署に出向き練習を行っていました。

離島医療を学ぶ

生月病院には、毎月研修医の先生が離島医療を学ぶために研修に来ています。慣れない土地や言葉に囲まれて、研修生活を送られる皆さんの声をご紹介します。

研修期間の一ヶ月はあっという間でした。生月病院の印象は良い意味で〝コンパクト〟であり、スタッフ間の連携もスムーズで大変働きやすかったです。また、研修医にも外来・検査を積極的に参加させて頂き、今まで気づかなかった診療のポイントや、検査の見方が習得でき、生月で学んだ事を今後の研修にも〝活かせる〟と自信になりました。また地域医療に関しても、過疎化が進む地域で、いかに地域の病院間連携を図るかを熱心に取り組まれており、先生や事務の方々の様々な〝創意・工夫〟を肌で感じることができて良かったです。

私も将来は福岡県杷木の実家へ帰って、いわゆる〝地域医療〟に従事していこうと考えております。この短い一ヶ月の中にも、私の将来目指す医療のモデルがたくさんあり、大変勉強になった研修でした。もっと医師として勉強した後に、いつかまた生月や離島で勉強してみたいと思いました。一ヶ月間大変お世話になりました。

【十月】久留米大学　研修医　**森山　智文**

秋の澄んだ空の下、山道をバスにゆられ、この島にたどり着きました。病院の正面玄関から望む景色は素晴らしく、何度も足をとめて遠くの海を眺めました。住んでいる地域が変われば、言葉も変わり、食べ物も変わり、医療が変わるのも当然です。ただ、私がこの島で感じた医療従事者と患者さんの関わり方はとても心地の良いものでした。わずか二週間という短い期間ではありましたが、大変貴重な経験ができました。

ありがとうございました。

【十月】神鋼病院(神戸市)研修医　**長尾　学**

【前列左から　長尾先生・辻本先生・森山先生】

長崎医療センターから研修に参りました辻本と申します。私は、一年目研修医で、まだ小児科、外科しかローテートしておらず、不安を抱えながら生月病院に参りました。生月病院は、地域の基幹病院として、一次医療から二次医療まで展開しており、風邪やインフルエンザ、腸炎など日常的な病気、介護疲労、変形性膝関節症など様々な疾患を体験する事ができ、非常に有意義でありました。また、予防接種、検診など地域住民の健康管理も勉強になりました。さらに、先生方に飲み会に連れて行っていただき、美味しい海の幸や平戸牛を食べたり、面白い芸？を見せて頂いたりなどとても楽しかったです。

一ヶ月は本当に短かったですが、地域医療の最前線を肌で感じる事ができ、その中で地域医療の抱える問題点や地域医療の果たす役割の重要性、そして長崎医療センターのような規模の大きい病院と地域医療を担う病院との連携の大切さ、老老介護の現実などたくさん考えさせられました。

生月病院で学んだ事、考えさせられた事をこれからの研修や医師人生に活かしていきたいと思っております。一ヶ月間大変お世話になりました。

【十月】

長崎医療センター　研修医　**辻本　信一**

十一月研修の山内先生(左)と白濱先生(右)

山内先生は勇魚まつりでジャグリングを披露していただきました

ありがとうございました

十一月二十日にカトリック山田幼稚園の園児が生月病院を訪れ、勤労感謝の日を記念してかわいいプレゼントをいただきました。園児の皆さんが手作りしたプレゼントは、生月病院の受付窓口に飾っていますので、ぜひご覧ください。

お知らせ 市民病院で耳鼻咽喉科の診察がはじまりました

昨年十月から、耳鼻咽喉科の外来（第一・第三・第五木曜日の午後のみ）を担当させていただいています。普段は戸石川町のごとう耳鼻咽喉科・整形外科医院にて診療を行っています。耳鼻咽喉科は、耳・鼻・喉・口・首が専門の科です。診察の範囲はいわゆる五感のうち、視覚を除く聴覚・嗅覚・味覚・触覚に関係する部分で、さらに耳は平衡感覚（バランス）に関わっています。

市民病院の外来では設備の面で、耳の手術はできませんが中南部地区の皆さんには近くなりましたので、困ったことがありましたらご相談ください。

ごとう耳鼻咽喉科・整形外科医院
後藤　弘毅

市民病院外来紹介

医師スタッフ
左から賀来医療監・押淵院長・池田管理者
武岡内科医・飯野内科医・堤外科医・戸川内科医・小林整形外科医・中桶内科医

市民病院外来看護師スタッフ

外来は師長、主任、看護師、看護助手、総勢二十二名で午前中は診療の補助、午後からは訪問診療、訪問看護、手術に入ったりしています。

外来診療科は、内科、外科、整形外科、眼科、泌尿器科、耳鼻咽喉科です。予防接種は随時行っています。

訪問看護・居宅介護支援を行っています

在宅で療養されている患者様が、よりよい在宅生活がおくれるようお手伝いさせていただいています。ここでは、訪問看護と居宅介護支援を看護師二名と居宅介護支援専門員二名の四人で行っています。

訪問看護は、自宅を訪問させていただき、病状の観察、内服の方法や家族に対しての介護指導、助言を行っています。必要に応じて、褥瘡の処置、その他医療処置を行っています。

居宅介護支援は、介護保険の申請代行やケアプランの作成など行っています。介護保険や介護方法などわからない時や困ったときは気軽にご相談ください。

お知らせ

糖尿病教室を開催します

日時　平成22年２月26日
　　12時30分から
内容　〇保健事業について
　　〇体験コーナー
　　運動，食事，フットケアー，
　　自由相談など

平戸市民病院
☎28－1113

第三十一回長崎県地域医療研究会

十月三十一日・十一月一日に長崎市で第三十一回長崎県地域医療研究会が開催されました。

「医療安全対策・当院の取り組み」と題されたシンポジウムでは、生月病院を代表して看護部と薬剤部から発表を行いました。

経管栄養に簡易懸濁法を導入して

生月病院　看護師　冨沢　京代

これまで生月病院では、経口で食事が充分に摂取できない患者さんに対して、点滴栄養法と経管栄養法を用いています。経管栄養法とは、体外から胃に直接通したチューブを用いて栄養剤・薬剤を注入する方法です。従来、薬剤はすべて錠剤を粉末状にして注入（粉砕法）していましたが、今回『簡易懸濁法』（錠剤をそのまま六〇度のお湯に溶かす方法）があることを知り、当院でも導入できないか、看護師・薬剤師で研究グループを組んで検討を重ねました。

粉砕法では、薬剤を「つぶす」「溶かす」などの作業に時間を要していましたが、懸濁法では調剤・溶解時間の短縮、薬袋使用量の減少による経費の削減、薬剤の確実投与等の問題を解消することができました。現在では院内だけではなく、各施設・在宅とも連携を図り簡易懸濁法を行っています。今後も各職種との連携を図りながら、業務の改善に努力していきたいと思います。

入院時の薬剤管理の取り組みについて

生月病院　薬剤師　青木　知子

病院では、安全な薬の治療を行うため、入院時に患者さんがご自宅や他の病院で使用していた薬を薬剤部で確認し、薬の重複投与などを防止するため、主治医や看護師へ薬の情報を提供してから使用しています。処方の内容を変更することもありますが、可能な限りお持ちいただいた薬を使用し、また他病院の薬で当院にない場合でも、他メーカーの同じ成分の薬や同様の効果が得られる薬で継続し、入院中に薬が途切れることがないように努めています。

患者さんが持参された薬を使うことで、処分する薬を減らし薬剤費の自己負担の軽減にも貢献しています。入院中も薬の事故なく安全に使用していただけるよう、積極的に取り組んでいますので、正確な情報を得るためにも「お薬の説明書」や「お薬手帳」などがあれば、入院時に一緒にご持参いただくようご協力ください。

生月病院院内研究会

十月二十三日、特別講師として伊万里市立市民病院副院長の松永和雄先生をお招きして、生月病院院内研究会を開催しました。

メタボリック症候群の本質である肥満を改善するため、伊万里市立市民病院では今年七月よりダイエット外来が導入されています。

松永先生が週二回診察を行い、三ヶ月間の診療患者は一五〇名を越え、二ヶ月先まで予約で埋まっているとの事でした。自治体病院でのダイエット外来は大変珍しく、メディアでも大きく取り上げられました。

今回の院内研究会で、その詳細についての講演をお願いしたところ快諾いただき、特別講演の開催となりました。

ダイエットへの高い関心や肥満に心当たりの方も多く、一五〇例の症例について検討された「ダイエット外来実践」について、大変熱心に聴き入る光景が見られました。

ダイエット外来の実践について

伊万里市立市民病院
副院長　**松永　和雄**

メタボリック症候群は、長期間放置しておくと動脈硬化が進行し、やがては、心筋梗塞、脳卒中などの重篤な疾患を起こす危険な状態です。

最近では、血管病に関する疾患だけではなく、肝臓病や発癌性に関しても注目されています。

メタボリック症候群の予防・改善の基本は、その内臓脂肪を減らすことにあります。食生活の改善や運動といったライフスタイルの改善を初期から導入することにより、かなりの改善が見込まれます。

しかし、医療機関や公的機関の広報活動にも関わらず、中年男性の肥満化や動脈硬化の低年齢化が問題視されています。健康二十一目標達成状況報告の二〇〇四年の報告では、食塩摂取量以外は、肥満度の増加や運動量の減少など、むしろ二〇〇〇年より悪化しているのが現状です。

自覚症状のない時期から、将来のリスクを見据えて期待どおりの効果を上げるのは、実際のところ困難です。伊万里地区では、メタボリック症候群の初期からの改善をより徹底するために、その本質である肥満を改善することを目的としてダイエット外来を導入しました。

平戸市民病院外来診療担当医師

平成22年１月15日現在

（都合により変更する場合があります。）

②内科	担当医師		月	火	水	木	金
	池　田	午前	診察	診察	(病棟)	診察	(病棟)
		午後	(病棟)	(病棟)	(病棟)	(病棟)	(病棟)
	賀　来	午前	(病棟)	診察	診察	診察	(病棟)
		午後	(病棟)	禁煙外来(要予約)	禁煙外来(要予約)	禁煙外来(要予約)	(病棟)
	飯　野	午前	診察	診察	(病棟)	新・急患	診察
		午後	(病棟)	(病棟)	(病棟)	新・急患	(病棟)
	戸　川	午前	新・急患	(病棟)	診察	診察	診察
		午後	新・急患	(病棟)	(病棟)	(病棟)	(病棟)
	中　桶	午前	診察	新・急患	内視鏡・包交	(病棟)	内視鏡・包交
		午後	(病棟)	新・急患	(病棟)	(病棟)	(病棟)
	武　岡	午前	(病棟)	(病棟)	新・急患	(病棟)	新・急患
		午後	(病棟)	(病棟)	新・急患	(病棟)	(病棟)
	山　下	午前					
		午後			大腸ファイバー		

⑤外科	担当医師		月	火	水	木	金
	押　渕	午前	診察	診察	内視鏡	診察	(病棟)
		午後	(病棟)	(病棟)	(病棟)	(病棟)	(病棟)
	堤	午前	内視鏡	内視鏡	診察	内視鏡	診察
		午後	手術又は検査	手術又は検査		手術又は検査	診察(包交)

③整形外科	担当医師		月	火	水	木	金
	小　林	午前	診察	(病棟)	(休診)	診察	診察
		午後	診察(病棟)	診察(病棟)		(病棟)	(病棟)
	派遣医師	午前		診察 労災病院	(休診)		
		午後					

⑧眼科	担当医師		月	火	水	木	金
	派遣医師	午前	診察	診察			
		午後	(病棟及び外来)				

○泌尿器科　第2、第4木曜日の午後　生月病院　中本医師

○耳鼻咽喉科　第1、第3、第5木曜日の午後　ごとう耳鼻咽喉科　後藤医師

＊午前の受付は午前11時までにお願いします(午後の診察は午後2時からです)

＊急患はいつでも受付ます

【平戸市民病院】　電話　0950-28-1113

生月病院外来診療医担当表

平成22年１月15日現在

診　療　科		月	火	水	木	金
内　科	Ⅰ	山下(新患)	山　下	山　下	山　下	山　下
	Ⅱ	田　中	田中(新)	田　中	田中(新)	田　中
	Ⅲ	小　村	小　村	小村(新)	小　村	小村(新)
外　　科		鈴　木	中　本	鈴　木	中　本	鈴　木
検　　査		各担当医				
午後外来担当		田　中	小　村	中　本	鈴　木	小　村

[その他特診等]

診 療 科	診 療 日（曜日）及 び 担 当 医 師 等	
泌尿器科	毎月最終水曜日	・青洲会病院　　院長　山崎医師
整形外科	毎週水曜日	・平戸市民病院　　小林医師
血液内科	毎月第２週目の火曜日	・平戸市民病院　　管理者　池田医師
循環器科	毎月第２週目の木曜日	・平戸市民病院　　医療監　賀来医師
	偶数月の第４金曜日	・伊万里市民病院　　副院長　松永医師
眼　　科	３ヶ月に１回（日曜日）	・前田眼科(福岡)　　院長　前田医師

きでら耳鼻咽喉科医院

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～13:00	○	○	○ ～14:00	○	○	○ ～14:00
15:00～19:00	○	○	－	○	○	－
休診日	日曜・祝日					

〒859-5113 平戸市木引田町414番(きでら薬局2階)
TEL:0950-23-8733 FAX:0950-23-8739

山下医科器械
ホーム＆ヘルスケア
佐世保市湊町3-13
TEL 0956-25-2115

クリスマス会が開催されました

毎年恒例となった療養病棟主催のクリスマス会が開催されました。

今回はこれまでとはちょっと違った雰囲気となりました。ひとつは、市民病院を退職された方々が、大正琴をぜひ皆さんの前で披露したいとのことで、演奏していただきました。童謡、懐メロなどを四曲演奏していただきました。もうひとつ、佐世保吹奏楽団の方々に来ていただき、サキソフォン四重奏・五重奏による演奏を披露していただきました。メンバーの中には、市民病院に週に一度、歯科診療に来ている山部先生も入って演奏されました。約三十分間クリスマスソングやジャズなど十曲ほど演奏していただきましたが、あっという間に時が流れていったようでした。

皆さんからは「こんなすばらしい演奏は、なかなか聴きに行くことは出来ないから、ここで聴けてよかったよ」などの声をいただきました。

ご協力ありがとうございました。

―― 健康は、食生活から ――

平戸椎茸
ひらどロマン

平戸市森林組合
〒859-5366
長崎県平戸市宝亀町91-1
TEL 0950-28-0151 FAX 0950-28-1080
椎茸生産部 TEL 0950-28-0300 FAX 0950-28-0200